

第68回 渋川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和3年2月2日（火）午後7時00分～／会場：プレヴェール渋川

I 講演：『嚥下に良い薬、悪い薬』

講師：渋川医療センター 薬剤師 新行内 健一 先生



「失われたものを数えるな。残された機能を最大限に生かせ。」

パラリンピックの写真がでてきた時は？？
と思いましたが、非常に分かりやすい例えだ

ったのではないのでしょうか。パラリンピックの理念「失われたものを数えるな。残された機能を最大限に生かせ。」＝「摂食嚥下障害のある方に良い薬というのはほとんどないという現状の中で、残された機能の中で最大限に工夫していかなければならない。」…納得です。

これを踏まえて、「どういった剤形の薬が飲みやすいのか」や、服薬の工夫など、具体的な症例を交えたお話を聞くことができました。

渋川医療センター内では多職種カンファレンスにも積極的に取り組んでいるのだそうです。また、調剤薬局との「薬薬連携」なども年に数回実施されているとのことでしたが、地域内でもこういった多職種間の動きがより活発になりポリファーマシー問題が減っていくと良いなと思います。

余談ですが、群馬県薬剤師会の協力を得て、当連携支援センターでは「医薬連携に関するアンケート」を実施いたしました。残薬になりやすい薬の種類や処方についてまとめてあります。ホームページに掲載してありますので是非ご覧ください。

会場参加者内訳

職種	参加人数
医師	3
歯科医師	6
薬剤師	4
保健師・看護師	10
歯科衛生士	1
ST・OT・PT	6
管理栄養士・栄養士	7
その他	8
合計	45

Web参加※ 31ヶ所

※1ヶ所で複数名の参加あり

★次回のご案内(予定)★

第69回 渋川摂食嚥下研究会

日時：令和3年4月6日（火）午後7時～／会場：ほっとプラザ4階・WEB同時配信予定

テーマ：『これで食べられる！正しい自助具の選択』～作業療法の摂食嚥下～

講師：渋川中央病院 作業療法士 篠原 智仁 氏

連絡先：渋川地区在宅医療介護連携支援センター

<住所> 渋川市渋川（長塚町）1760番地1 渋川ほっとプラザ2階

<TEL> 0279-26-3990 <FAX> 0279-26-3903

<E-mail> shibu-renkei@mail.gunma.med.or.jp